



「八雲の家」の北側出窓詳細図

「八雲の家」のファサードを特徴付ける出窓は、1,870mm角で外壁から750mm飛び出し、内部から見たときには窓枠が出ず、外観上は厚さ23mmのスチールプレートの枠だけでガラスを支えているようなシャープな表現となっている。スチールプレートは構造用ボードと重ねて柱・梁にネジで固定。ガラスは構造シールを使って取り付けられ、ガラス、シール、スチールプレート枠が一体となって外力を負担している。出窓東面には、通風のために扉と木製ガラリを設けている。